

NPO法人 龍ヶ崎ゲヴァントハウス 特別講演会とコンサート

“歴史に翻弄されたメンデルスゾーンの真髓” ～ユダヤ人だったために不当に評価された過去と再評価～

今年最後のCDコンサートは元・NHK音楽プロデューサー、NHK交響楽団演奏企画部長としてご活躍された、竹森道夫氏をお招きし、「歴史に翻弄されたメンデルスゾーンの神髓」と題して「特別講演会&CDコンサート」を開催します。竹森氏が自らの体験を基に、名曲の数々を聴きながら熱く語ります。メンデルスゾーン（1809～1847）の音楽は“メンコン”こと、ヴァイオリン協奏曲ホ短調に代表されるように、“美しいけれど軽い”と思われがちです。しかしメンデルスゾーンは交響曲の「イタリア」や「スコットランド」、ピアノ三重奏曲第1番、オラトリオ「エリア」など多くの傑作を残している大作曲家です。幸い生誕200年を迎えた2009年頃から、世界中に散逸していた750もの作品が再確認され、この大作曲家の全貌が明らかになってきました。竹森氏は現地取材等から、この事を身を持って体験しています。竹森氏は1984年NHKのテレビ番組「名曲アルバム」の取材でカメラマンと共にメンデルスゾーンの生地ハンブルクを訪れました。以下、竹森氏のお話です。「当時、現地政府観光局にはユダヤ人だったメンデルスゾーンに関する資料や書籍は皆無でした。生家を尋ねても「判らない…」の一点張り。映像で綴る番組は風景とイメージだけの“ヘソ”のないものとなり、プロデューサーとして涙しました。その後、生家に掲げられたプレートやライブツィヒ音楽院の前に立つ銅像もナチスに破壊された事を知りました。メンデルスゾーンの音楽をワーグナーは「音楽におけるユダヤ性」と誹謗しました。ヒトラーはこの言葉を利用し、メンデルスゾーンの全ての楽譜を焼却する指示をしたのです。ハンブルク観光局も「ナチ」という言葉を口にしなくなかったのだと思います。メンデルスゾーンへの軽率な先入観を激変させられたのが、当時、霧島国際音楽祭音楽監督・故ゲルハルト・ボッセ氏(元ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管の名コンサートマスター)の音楽祭で、優秀な音大生トリオに対する、厳しい公開レッスンでした。寡黙にして激しい情熱!! 音色ひとつ、フレーズひとつ、休符の感じ方、テンポの変わり目…。そのこだわりは鬼気迫るものがありました。「えーっこの曲、こんなにみっちりメッセージが込められていたのか…」と!! メンデルスゾーンの神髓に衝撃を受けるとともに、作品を生かすも殺すも、演奏家の良心と洞察力、経験が必要だと痛感しました。音楽ファンも襟を正してメンデルスゾーンの音楽に向き合う時だと思えます。」

日 時：2018年12月8日(土) 午後2時00分～午後4時30分(休憩10分)
場 所：龍ヶ崎シヨッピングセンター「リブラ龍ヶ崎」2階旧映画館
講 師：竹森道夫氏(元NHK音楽プロデューサー、NHK交響楽団演奏企画部長)
テーマ：「歴史に翻弄されたメンデルスゾーンの真髓」
～ユダヤ人だったために不当に評価された過去と再評価～

《竹森道夫氏・略歴》

1947年広島生まれ。1971年NHK入局、「音楽の広場」、「名曲アルバム」、「芸術劇場」、「NHK特集」等のディレクター、番組デスク・プロデューサー。1989年バイエルン州立歌劇場の「ニーベルングの指輪」、「ザルツブルク音楽祭」、「ウィーン・フィルのニューイヤーコンサート」、「マリンスキー歌劇場」等のハイビジョン国際共同制作プロデューサー。1994年からNHK交響楽団演奏企画部長。2001年NHK退職後、東京都交響楽団演奏制作部長を経てその後、サントリーホール・シニアプロデューサー、浜松市アクトシティ音楽院音楽監督などを務め、2011年5月からNPO法人「日本の道」スタッフとして、岩手県最大の被災地のひとつ大槌町で音楽を軸にした支援と交流を行い、2013年エル・システマジャパン大槌が発足。一般社団法人「槌音」の理事として子供達の音楽指導をサポートする傍ら、鹿児島島の「霧島国際音楽祭」事務局長を務めている。またチーフ・プロデューサー時代にキローフオペラの取材に行った折りに、ヴァレリー・ゲルギエフ氏と出会い、NHKの放送がきっかけで、当時ほとんど無名だったゲルギエフという天才指揮者が西側諸国に紹介されることとなった。その後多忙なゲルギエフ氏とは来日のたびにお会いすると言う関係を築いている。当会CDコンサートでは、2017年6月の第1回に続き、2018年1月に「クライバー&ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート生中継秘話」をテーマに講演、大好評を博している。

曲 目

- | | |
|----------------------------------|---|
| クラリネット・ソナタ変ホ長調～第2楽章 | ハंक・デ・グラーフ(cl)/ダニエル・ワイエンベルク(p) |
| ピアノ三重奏曲第1番二短調Op.49 | ボロディン・トリオ(ロスティスラフ・ドゥヴィンスキー(vn)/ユーリ・トウルノフスキー(vc)/ルーバ・エドリーナ(p))(1984) |
| 序曲「フィンガルの洞窟」Op.26 | リッカルド・シャイー指揮ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(2006) |
| ————— (休憩10分) ————— | |
| ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64 | ナタン・ミルシユタイン(vn)/ブルーノ・ワルター指揮ニューヨーク・フィル(1945L) |
| オラトリオ「エリア」Op.70
第1部～序章-序曲、第1曲 | ヴォルフガング・サヴァリツィシュ指揮
ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団/ライブツィヒ放送合唱団他(1968) |
| 弦楽四重奏曲第6番ハ短調Op.80 | カルミナ弦楽四重奏団(1991) |

★ホームページアドレス <http://gewandhaus.sakura.ne.jp/wp/>